# 国際交流学科カリキュラムツリー（2024・2025年度入学）

| | 1年次 | 2年次 | 3年次 | 4年次 | |
|---|---|---|---|---|---|
| キャリア形成 | アカデミック・スキルズ<br>基礎ゼミA<br>基礎ゼミB<br>ビジネス入門<br>航空・空港キャリア概論A<br>航空・空港キャリア概論B<br>航空・空港キャリア実習<br>旅行・ホテル・観光キャリア概論 | キャリア形成演習 | | | DP2　国際的な視野から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。<br>DP3　国際交流を領域的に進め、国際的な場で協働をおこなうために前提となる諸要素を理解することができる。<br>DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。<br>DP5　自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発信・活用することができる。<br>DP6　課題解決に向けて自ら考え、努力し、その基盤を協調性やリーダーシップをもって他者と分かち合うことができる。<br>DP7　国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。 |
| 学部コア | 留学プランニング<br>国際コミュニケーション入門<br>歴史・文化の視点<br>異文化理解<br>世界の中の日本 | | | | DP1　日本語、英語、選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。<br>DP2　国際的な視野から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。<br>DP3　国際交流を領域的に進め、国際的な場で協働をおこなうために前提となる諸要素を理解することができる。<br>DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。<br>DP5　自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発信・活用することができる。 |
| 英語 | TOEIC A<br>Oral Fluency Ⅰ<br>Fundamentals of English Ⅰ<br>English for Advanced Studies A<br>English for Specific Purposes A<br>Basic Writing Skills Ⅰ<br>Intermediate Practical Discussion Skills Ⅰ<br>TOEIC B<br>Oral Fluency Ⅱ<br>Fundamentals of English Ⅱ<br>English for Advanced Studies B<br>English for Specific Purposes B<br>Basic Writing Skills Ⅱ<br>Intermediate Practical Discussion Skills Ⅱ<br>TOEIC C<br>TOEIC D | Oral Fluency Ⅲ<br>English for Advanced Studies C<br>English for Specific Purposes C<br>Intermediate Writing Skills Ⅰ<br>Intermediate Reading Skills Ⅰ<br>Oral Fluency Ⅳ<br>English for Advanced Studies D<br>English for Specific Purposes D<br>Intermediate Writing Skills Ⅱ<br>Intermediate Reading Skills Ⅱ | Topics for Cross-Cultural Communication: Global Issues Ⅰ<br>Topics for Cross-Cultural Communication: Global Issues Ⅱ<br>Advanced Practical Discussion Skills<br>Advanced Reading Skills<br>Business English Writing<br>Spoken Business English | | DP1　日本語、英語、選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。<br>DP3　国際交流を領域的に進め、国際的な場で協働をおこなうために前提となる諸要素を理解することができる。<br>DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。 |
| 日本語（留学生） | 日本語Ⅰ<br>統合日本語Ⅰ<br>日本語アカデミック・ライティング<br>日本語アカデミック・スピーキング<br>社会と文化の日本語 A<br>社会と文化の日本語 B<br>日本語Ⅱ<br>統合日本語Ⅱ | 日本語Ⅲ<br>統合日本語Ⅲ<br>専門日本語（福祉・介護）<br>専門日本語（ホテル・観光）<br>専門日本語（文学・評論）<br>専門日本語（異文化コミュニケーション）<br>日本語プロジェクト教育A<br>日本語プロジェクト教育B | ビジネス日本語Ⅰ<br>ビジネス日本語Ⅱ<br>キャリア日本語（就職）<br>キャリア日本語（進学） | | DP1　日本語、英語、選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。<br>DP2　国際的な視野から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。<br>DP3　国際交流を領域的に進め、国際的な場で協働をおこなうために前提となる諸要素を理解することができる。 |
| 第２外国語 | 中国語Ⅰ<br>韓国語Ⅰ<br>スペイン語Ⅰ<br>ドイツ語Ⅰ<br>フランス語Ⅰ<br>ハンガリー語Ⅰ<br>ポーランド語Ⅰ<br>チェコ語Ⅰ<br>中国語Ⅱ<br>韓国語Ⅱ<br>スペイン語Ⅱ<br>ドイツ語Ⅱ<br>フランス語Ⅱ<br>ハンガリー語Ⅱ<br>ポーランド語Ⅱ<br>チェコ語Ⅱ<br>中国語Ⅲ<br>韓国語Ⅲ<br>スペイン語Ⅲ<br>ドイツ語Ⅲ<br>フランス語Ⅲ<br>ハンガリー語Ⅲ<br>ポーランド語Ⅲ<br>チェコ語Ⅲ<br>中国語Ⅳ<br>韓国語Ⅳ<br>スペイン語Ⅳ<br>ドイツ語Ⅳ<br>フランス語Ⅳ<br>ハンガリー語Ⅳ<br>ポーランド語Ⅳ<br>チェコ語Ⅳ | 中国の言語・文化・社会 A<br>韓国の言語・文化・社会 A<br>スペインの言語・文化・社会 A<br>ドイツの言語・文化・社会 A<br>フランスの言語・文化・社会 A<br>ハンガリーの言語・文化・社会 A<br>ポーランドの言語・文化・社会 A<br>チェコの言語・文化・社会 A<br>中国の言語・文化・社会 B<br>韓国の言語・文化・社会 B<br>スペインの言語・文化・社会 B<br>ドイツの言語・文化・社会 B<br>フランスの言語・文化・社会 B<br>ハンガリーの言語・文化・社会 B<br>ポーランドの言語・文化・社会 B<br>チェコの言語・文化・社会 B | | | DP1　日本語、英語、選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。<br>DP3　国際交流を領域的に進め、国際的な場で協働をおこなうために前提となる諸要素を理解することができる。<br>DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。 |
| 報情 | デジタルアプリA<br>データサイエンスⅠ | | | | DP5　自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発信・活用することができる。 |
| 専門基礎 | 国際日本学<br>日本の歴史A<br>日本の歴史B<br>社会学入門<br>比較文化概論<br>アメリカ文学概論<br>中欧の社会と文化 | 政治学入門<br>法律学概論<br>経済原論A<br>経済原論B<br>文化人類学<br>外国史概説<br>地理学A<br>地理学B<br>近代イギリス文学 | 地誌 | | DP2　国際的な視野から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。<br>DP3　国際交流を領域的に進め、国際的な場で協働をおこなうために前提となる諸要素を理解することができる。<br>DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。 |
| 国際関係・国際協力 | 国際協力論<br>国際ボランティア論<br>日本と北米<br>日本と中南米<br>日本とヨーロッパ<br>日本とアジア<br>アジアの女性論<br>西洋美術 | 文化交流史（日本：アジア）<br>文化交流史（日本：欧米）<br>日本文化論<br>文化遺産<br>Multimedia Production | 国際機構論<br>国際法<br>国際開発論<br>国際経済学<br>アメリカ対外関係論<br>国際関係論<br>アジア国際関係論<br>開発と女性<br>中欧地域文化研究<br>Images of Japan：Literature and Film<br>Variable Topics in Culture and Society in Japan<br>Selected Topics in Japanese Manga and Animation | | DP2　国際的な視野から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。<br>DP3　国際交流を領域的に進め、国際的な場で協働をおこなうために前提となる諸要素を理解することができる。<br>DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。 |
| 国際コミュニケーション | 言語学概論<br>英語学概論A<br>英語学概論B<br>English Project Education A<br>English Project Education B | 社会言語学<br>言語・非言語コミュニケーション論<br>第二言語習得論<br>異文化間コミュニケーション論<br>異文化適応論<br>児童英語教授法Ⅰ<br>児童英語教授法Ⅱ<br>発達心理学<br>英米児童文学A<br>International Communication<br>Language Acquisition<br>English Teaching Methodology Ⅰ<br>Oral English for Children A | 言語学<br>翻訳の基礎（英日）<br>英米児童文学B<br>Mentor Program Ⅰ<br>Mentor Program Ⅱ<br>English Teaching Methodology Ⅱ<br>Oral English for Children B<br>Presentation Skills | | DP1　日本語、英語、選択した第二外国語を読み、書き、聞き、話すことによって、適切なコミュニケーションをはかることができる。<br>DP3　国際交流を領域的に進め、国際的な場で協働をおこなうために前提となる諸要素を理解することができる。<br>DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。<br>DP5　自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発信・活用することができる。<br>DP6　課題解決に向けて自ら考え、努力し、その基盤を協調性やリーダーシップをもって他者と分かち合うことができる。<br>DP7　国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。 |
| 日本語教員養成 | 日本語学概論A<br>日本語学概論B<br>日本語の語彙・意味<br>日本語の文法A<br>日本語の文法B | 日本語の音声<br>日本語教授法（教授法）<br>日本語教授法（コースデザイン・評価）<br>日本語教授法（教材・教具） | 日本語教育事情<br>日本語教育実習Ⅰ<br>日本語教育実習Ⅱ | | DP2　国際的な視野から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。<br>DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。<br>DP7　国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。 |
| ゼミ研修・実践 | 国際交流研修A<br>国際交流研修B<br>国際交流研修C<br>コミュニケーション・インターンシップ | | 国際交流演習Ⅰ<br>国際交流演習Ⅱ | 国際交流演習Ⅲ<br>国際交流演習Ⅳ<br>卒業論文<br>卒業制作 | DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。<br>DP5　自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発信・活用することができる。<br>DP6　課題解決に向けて自ら考え、努力し、その基盤を協調性やリーダーシップをもって他者と分かち合うことができる。<br>DP7　国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。 |
| 英語教員養成 | 教育課程論<br>教職論<br>道徳教育の理論と方法 | 教育原理<br>教育心理学<br>教育制度<br>教育方法論（ICT活用を含む）<br>総合的な学習の時間の指導法<br>特別活動論<br>生徒指導（進路指導の理論および方法を含む）<br>特別のニーズ教育論 | 英語科教育法Ⅰ<br>英語科教育法Ⅱ<br>英語科教育法Ⅲ<br>教育相談（カウンセリングを含む）<br>介護等体験 | 英語科教育法Ⅳ<br>教育実習Ⅰ（事前および事後指導を含む）<br>教育実習Ⅱ<br>教職実践演習（中・高） | DP2　国際的な視野から、日本語と、日本の文化と社会を理解できる。<br>DP3　国際交流を領域的に進め、国際的な場で協働をおこなうために前提となる諸要素を理解することができる。<br>DP4　言語・文化・社会の多様性を踏め、国際社会の課題を発見することができる。<br>DP5　自ら見出した課題について、適切な方法で情報収集・検討・考察し、その結果や自己の見解を、効果的な形で発信・活用することができる。<br>DP6　課題解決に向けて自ら考え、努力し、その基盤を協調性やリーダーシップをもって他者と分かち合うことができる。<br>DP7　国際交流の知識とコミュニケーション能力を活用し、国際社会の発展に貢献することを目指して行動することができる。 |